

農業土木相双農林事務所
農村整備部 農地計画課

令和5年度採用

わたしを表すKEY WORD

#相双地方開拓中

相双地方での暮らしの中で、野馬追いを初めて会場で鑑賞したり、これまで知らなかった美味しいものや綺麗な景色と出会ったりと日々様々な魅力を発見しています。

今後も相双地方ならではの経験や魅力を見つけ、発信していきたいです。

#健康第一

慣れない環境での初めての一人暮らしにおいて、何より体調管理に気をつけています。大学時代は不規則な生活を送っていたため、バランスのとれた食事と朝型の生活の大切さを痛感しています。

#音楽鑑賞

#運転練習中

#一人暮らしデビュー

**ふくしまの魅力ある農業農村を守り、未来につなげる！**

私が担当する農育事業の一環として、私たちの仕事を知ってもらうため、小中学生を対象とした農業水利施設やほ場整備工事の現場見学会を開催しました。先輩方にお力添えいただきながら数ヶ月前から準備し、無事に見学会を終えることができました。参加者の方々から「楽しかった」、「また参加したい」との感想をいただくことができ、達成感を覚えました。



↑農地の現地確認の様子

県職員を目指した理由

福島市で生まれ育ち、大学で県内各地の農業を学ぶ中で福島県への愛着が増しました。大学卒業後は、大学で専攻した農業農村工学への興味を活かし、震災復興や農業の基盤整備に携わりたいと考え、福島県の農業土木職を志望しました。

とある一日のスケジュール

8:30	始業 メールチェック等
10:00	打合せ
12:00	昼休み

13:00	メールチェック・業務確認
14:00	打合せ記録簿作成
15:30	設計書作成
17:15	終業

この1年間で、印象に残った経験

当日は天気の都合で中止となってしまいましたが、農林事務所対抗のソフトボール大会が企画され、終業後に職場近くのグラウンドを借りて所内の皆さんとソフトボールの練習をしたことが印象に残っています。私は運動が得意ではないですが、和気あいあいと楽しく身体を動かすことができ、練習で高まった結束力のおかげで職場でもコミュニケーションがとりやすくなったように感じます。



↑農育事業現場見学会での進行



↑打ち合わせ

福島県職員として、実現したいこと・目標としていること

農業土木職の先輩方から、過去に手がけた地区や施設についてお話を伺ったり、案内していただいたりする中で、農業土木職の仕事への誇りを感じています。私も先輩方のように、工事監督員として県内各地のほ場整備や農業水利施設の工事に携わり、新しく生まれ変わったほ場や農業水利施設が地域の営農を支える姿を見ることが現在の目標です。